

Amir Tsarfati 氏 中東時事アップデート 2019年03月16日公開
(日本時間 3月17日 午前3時 = イスラエル時間 3月16日 午後8時)

.....

皆さんシャローム。 アミール・ツアルファティです。

エイラートの町より ライブをお届けしています。

背後に見えるのは ヨルダンのアカバ市の灯りです。そのさらに向こうは サウジアラビアの灯りで、紅海のこちら側は イスラエルのエイラート。人口6万5千人の イスラエルでナンバーワンのリゾート都市です。そして 私の南側は エジプトです。

こんにちのエジプト。シナイ半島があちらにあります。この場所の 何が面白いのかと 聞かれるなら、シナイが 申命記と 第二列王記に 登場する事以外に、信じ難いかも知れませんが、ユダ族は 遥かここまで領地を拡大しました。ある時点で 支配力を失っては、また支配力を得て、再び支配力を失い、ソロモン王が また占領しました。ただ 私達に分かっているのは、ここは元々 ユダ族のものであったという事。

それから非常に 興味深いのは、

出エジプト記で 紅海を渡ったのは、私の居る この エジプト側から あの灯りが見える サウジ側に向かってでした。基本的には ここから何マイルも離れた場所で、私達は(水面下に横たわる) 陸橋を発見しています。そこを イスラエルの民が 海底深くまで行く事なく 簡単に歩く事が出来たのです。

それから また私達は、エジプト、パロの時代の 戦車の車輪も 発見しています。ですから イスラエルの民が このエジプト側から 向こうの サウジ側へと渡った 証拠が 現場にあります。

私は その先の Jebel al Lawz (ジェベル・アル・ラツ) に シナイ山 があったと信じています。

オススメのミニストリーが いくつかありますが、その一つは「スプリット ロック・ミニストリーズ / Split Rock Ministries」で [ウェブサイト] <http://splitrockresearch.org/>

サウジアラビアで働いていた クリスマン一家が、イスラエルの民が 歩いた経路の痕跡を 偶然発見した事などを伝えています。Jebel al Lawz (ジェベル・アル・ラツ) は 閉鎖された 軍事区域ですが、完全に焼けた山です。まさに 律法が与えられた時に 火が下った話そのままに 本当に驚きます。

もし、聖書を信じていないなら、ここに来て ご自分の目で 確かめるべきですよ。

これは エキサイティングな事です。

では いくつかの出来事について お話ししましょう。まず エキサイティングな事は、

私が ヨーロッパで教えている、待望の「Bible Land Unveiled」について。ローマで教えた2本で、一つは「兄弟たち。これは 宗教ではありません」、もう一つは「まず、ユダヤ人」です。両方とも 去年ローマで撮影したのですが、ついに 発売される事になりました。ウェブサイトでご注文いただけます。また 来週ユーチューブで無料で公開しますので、DVD を購入出来ない方々にも無料でご覧いただけます。

これが とてもワクワクするのは、私はこれを バチカンを背後に メッセージしていて、ユダヤ人と カトリック教徒 の両方に 宗教について、また 神の御言葉は 何と告げているのか につい

て挑むものだからです。また コロセウムの すぐ横では「まず、ユダヤ人」のメッセージをしました。これは 神は ユダヤ人をどうされるのかについて 疑問に思っておられる多くの方にとって ワクワクするものだと思います。

それ以外に もう一つお伝えしたいのは 神の恵みにより、フェイスブックの「いいね！」と フォロワーの数が 20 万人を超えました。皆さんに感謝します。まず 神に感謝します。しかし 私たちのフェイスブックページを 信頼してくださった 皆さんにも感謝します。また この 神の御言葉を広める働きを、主が 世界の 他の地域に 広げてくださるよう祈ります。インドや その他 人口の多い国々からも 閲覧されている事が分かっています。その全員が クリスマンではありませんが、非常に たくさんの人々から、私たちの所に メッセージが届いていて 非常に励まされています。念のために お伝えしておきますと、カナダのカンファレンスは 1500 人が既に登録済みで 残り 1500 席。あと 2ヶ月しかありませんので 出来るだけ早めにご登録ください。カナダの トロントで 2019年5月11日です。

では 始めましょう。

まず 最初にお話ししたいのは ガザ での問題です。

皆さんの中にも 心配されている方が居られますが、2日前2発のロケットが はるばるテルアビブまで飛んで来ました。1発は 空き地に落下、というより 空中で爆発しました。ロケット自体が 非常に悪いもので、地上に命中する事もなく 空中で爆発して 空き地に落下しました。もう1発は アイアンドームに 迎撃されました。そこで疑問は、なぜ ハマスは テルアビブに ロケットを発射したのか？

彼らは 通常、ロケットを ガザの隣に発射するのに、あれほどの距離をなぜ？ そこで もちろん“公式”回答は「誤って」です。私は いつも笑うのですが、誰が ロケットを 誤って 発射しますか？

ロケットを発射するには 実際に ボタンを押さなければなりません。ロケットが 発射台に なければならないのです。そしてそれを 発射したい方向に 向けなければなりません。

それから ボタンを押して ロケットを発射しなければならないのです。

ですから、きっと「誤射」ではないでしょう。

ただ、なぜ 彼らが それを行なったのかを理解する為に、皆さん 理解しておかなければなりません。今 ガザ内で 地元の人たちは ハマスと ハマス政権に辟易していて、多くの 内戦が 起こっているのです。ハマスは 崩壊していて、ハマスは お金を盗み、食料を盗み、地元の住民達が 払うことの出来ない 税金を課しています。そこで 地元住民は言っているのです。

「イスラエルなんて どうでもイイ。我々の問題は ここの お前たちだ！」

そして彼らは 出て行って デモを行なっていますが、信じ難いことに ハマスは 実弾を使用して 住民達を撃っているのです。彼らは 住民の抗議デモを 沈めなければなりません。彼らは 世界に、自分達が 完全に支配しているように 見せたいのです。皆が 彼らハマスを 愛している、と。

しかし、明らかに 地元住民は ハマスのことを嫌っています。それだけでなく 彼らは ジャーナリスト達を逮捕し、また あの地域から 配信していた可能性のある 携帯電話を 全て 没収しているのです。しかし彼らは その全てを 集める事は出来ず、それらの内の 写真や動画が イスラエルの メディアに漏れて、世界中で 彼らは 恥をかきました。私たちは、今でさえ デモが起こっているのを 目にしています。ある

人は ハマスが 彼を虐待し、市場で商品を売ることを禁じた為に 焼身自殺を計りました。これは、アラブの春が始まった アルジェリアでの出来事を彷彿させます。ですから現在 多くの内戦がガザで 始まっていて、イスラエルとは 一切関係がありません。

全ては ハマス独裁政権による 自国民に対する敵対で。

この為に 彼らはロケットを イスラエルに向けて発射する 必要があったのです。注目を そらす必要があったから。彼らは イスラエルに 報復させたかったのです。そうすれば 皆が イスラエルを憎み、イスラエルが問題だ、自分達の問題は忘れよう、となりますから。

これが 彼らの常套手段で、これが 自分達の問題から 目をそらす 彼らのやり方です。

これは 歴史上で 目にして来た事で ガマール・アブドゥル=ナーセル(?)が イエメンで 自分達の問題を抱えていた時に 国内外での 自身の全ての失敗から 目をそらす必要があった為 1967年 イスラエルに対して 戦争を始めました。

ですから皆さん、ガザでの問題について話をしていますが 事態がエスカレートするに従って さらにもっと 彼らに関する事を 耳にするようになるでしょう。繰り返しますが あちらでは内部の問題があつて、また イスラエルは 国内の最も人口密度の高い地域を攻撃されて、それを黙認しない事を 彼らは理解しています。イスラエルは、夜間の内に ガザ地区全域にある 100箇所 標的を攻撃したので ハマスはそのメッセージを理解し ペテンを止めました。以上が ガザについてです。

ヒズボラは リーダーである ハサン・ナスラッラー が、彼の地下壕から 非常に面白い テレビ演説を行い、初めて 「トランプ大統領が 抵抗の大きな問題だ」と言いました。

彼らは 実際に 自分達が経済危機にある事を認めました。そして 銀行に全くお金がない事を認め、また 彼らの問題は ドナルド・トランプ が大統領になってからだ と認めました。彼らは事実 オバマの下で 繁栄していたのです。彼らには イランに与えられ、そこからヒズボラに流れた 何十億ドルという資金がありました。それが トランプ大統領は 11月に ヒズボラを追求し始めた時、アメリカ国民に言いました。「ヒズボラは、アルカイダ に次いで 2番目に アメリカの兵士と アメリカ国民を殺害している。」

皆さんにお伝えしておきますが 1980年代には ヒズボラによって 270人以上の アメリカ海軍の兵士が 殺害されています。彼らは 海軍本部、ベイルートにある 海軍の兵舎に、爆弾を積んだ車で 突っ込んだのです。ヒズボラは 血生臭く 残虐な テロ組織です。

ヨーロッパは テロ組織として認識していませんが、イギリスは ようやく認識しました。

アメリカは 随分 前から認識しています。

そして 今は ようやく アメリカに テロ組織を枯渇させる為に 何かを行う 政権が登場しました。彼らは オバマの下で 非常に恥ずべき形で 繁栄していたのです。ですから現在、ヒズボラは、小さな “ブタの貯金箱” を 送り込んでいます。もちろん、ブタは 清い動物ではないので、彼らは 別のものを使っていますが。とにかく 彼らは 一般人から お金を集め始めました。彼らには 一般人が必要です。今、イランは お金を与えることが出来ませんから。以前は 彼らが行動する事を 許していた ベネズエラは、彼らに資金を与えなくなり 全てが崩壊しています。ヒズボラは 自分達が シリアで何億ドル という資金を

費やした事を理解しています。そして彼らは 3千人以上の 兵士を失いました。基本的には シリアが ヒズボラから 盗んだのです。ヒズボラが シリアから 盗むのではなく。そして彼らは あちらは底なし穴である事に気付きました。

ヒズボラは レバノンの選挙で 国会内の議席を いくつか勝ち取りました。

そして彼らは 新しい政府の 厚生省を 受け取りました。おそらく彼らは 年間予算が 3億8千万ドルの この 裕福な省を利用して、何とか 自分達の 懐を肥やそうとするでしょう。

おそらく彼らは あちらで イランの薬を推して 資金を稼ぐでしょう。それからおそらく 自分達の民に そこで仕事をさせて、自分達が給料を払わなくても 政府に給料を払わせるようにするでしょう。その他にも 多くの事を行うのが 目に見えています。

しかし初めて ハサン・ナスラッター が テレビ演説で 基本的に このように言ったのです。

「トランプ大統領が、抵抗の大きな問題だ。」

皆さん、この大統領に関して 何でも好きな事を 言えば良いですが、繰り返しますが 私は 共和党派でもなければ、アメリカ人ですら ありません。しかし 私は 彼のように テロリストに対抗して 行動する大統領は 見たことがありません。そして 私は それを誇りに思います。

事実 彼が行なっている事は 他にもあります。念のために言うておきますと、

世界中で 最も崩壊している団体の 一つは、オランダのハーグにある 国際裁判所です。ここは 自薦の 裁判所で、国や 人を 自分達の感覚 に従って、戦争犯罪として 取り調べるかどうかを 決定します。しかし興味深いのは、戦争犯罪を犯した者達が 国際裁判所の 耳であり、その彼らが 国際裁判所に 苦情を 訴えているのです。つまり パレスチナ当局、イラン、その他の国々が、アメリカや イスラエル、その他の 民主国家に対して 苦情申し立てをしているのです。

そこで アメリカは、もう限界だ とし、マイク・ポンペオ国務長官が 今日発表しました。

「国際裁判所の判事は 全員、今後 アメリカ合衆国 入国のための ビザを取得できない。」

これは すごい事です。もし これで足りなければ 彼は また言いました。

「もし 彼らが、今後も アメリカ国民に 嫌がらせを続けるなら 我々は 彼らに対して 逮捕状を出す。」

皆さん このような事は 初めてです。この政権が どれほど 堂々と勇敢に戦っているか、私は 言葉で言い尽くせません。明らかに 崩壊している事柄に対して、明らかに 異常な事柄に対して。この全てを目にして、私は とても嬉しく思います。

さて、アメリカ国内の ユダヤ系 アメリカ人について 少し お話ししましょう。

皆さん、よく聞いてください。「アメリカの議会がした事を 攻撃するとは どんな神経だ！」とか 何とか 言って、私に メールをして来た人たちが いましたから。よく聞いてください。ムスリムの女性達が 民主党 (*書記注: 言い間違いを訂正) を 代表して・・・

彼女の名前は イルハン・オマール だったと思います。イルハン・オマール は 非常に 反ユダヤ主義発言を 発信し始めました。ユダヤ人達が アメリカを支配している とか、ユダヤ資金が アメリカをコントロールしている とか、AIPAC (アメリカ・イスラエル公共問題委員会)は 崩壊している とか、そういっ

た事を全てです。

そこで、皆さん 理解しなければなりません。

アメリカ国内のユダヤ人達は 圧倒的に 民主党です。そして彼らは 自分達が衝撃を受けた事 を認めています。そこで 彼らは すぐさま イルハン・オマール の発言を 非難するよう 党に要求しました。

ところが 信じ難いことに、彼らが行なった事は 声明の発表です。これ 聞いてください。

「(我々は) あらゆる人種差別、イスラム恐怖症、白人至上主義に 反対する。」

反ユダヤ主義は アメリカ国内の問題の 70%ですが、それが今は イスラム恐怖症、白人至上主義、人種差別と 一緒になっています。

それから 信じ難いことに、その決議案は イルハン・オマール の発言を 非難しませんでした。つまり 彼らは 彼女の発言を非難する事を 拒んだのです。550万人の ユダヤ系アメリカ人は 新しい漸進的な民主党は 彼らに背を向けている事 を知って ショックを受けました。そして 実際には アメリカ国内で ムスリム人口が増加しているのを 目にしているのです。さらには、ユダヤ人が ムスリムに 置き換えられている と言って良いでしょう。つまり 民主党内では党員が ムスリム達に置き換わっており、その彼らは ユダヤ人の支持に頼っています。

ところで、これは イギリスで起こっている事と 全く同じです。

労働党党首の ジェレミー・コービン は 親ハマス派、親ヒズボラ派、親パレスチナ派で、反イスラエル主義です。その彼が この数年間 非常に多くの 反ユダヤ主義的 発言をしていて、労働党のユダヤ人達は 今、自分達は 置き換えられた事を 理解しています。

しかし皆さん、一つお伝えしたいのは ヨーロッパは 非常に恐ろしい事を いくつか体験しています。

イギリスは 特にそうですが、もしアメリカが 何らかの対処をしないと アメリカも同様の道を辿るでしょう。

今から コメント欄に 英国のジャーナリスト Katie Hopkins (ケイティー・ホプキンス) の、聡明な 演説を投稿しますので、彼女が イギリスで起こっている事と関連付けて アメリカの人々に言っている事をお聞きください。

「この素晴らしい国を 英国のようにしないでください。アメリカを ヨーロッパのように 崩壊させないでください。私達を見て、私達を 警告 としてください。私達より賢くなってください。私は 自分の国が崩壊するのを目にしました。そこで、彼らが アメリカ合衆国に 同じ事をしないために 警告します。信じてください。私は、私の国を愛しています。

英国は、私たちの ほとんどが 認識出来ない国になりました。私のところには この国を愛する 60代 70代の方々から 怒りの手紙 や 電子メールが 届きます。彼らは、自分達の愛する国 が理解出来ず、葛藤しています。私の両親も同様で、彼らは問いかけます。『世界は狂ってしまったのか?』、『これは、いつまで続くのか?』、『これは、どこで止まるのか?』ある人達は、自分が高齢で良かったと言います。すぐに この世を去るから。」

実に悲惨です。イギリスの高齢者達は、自分達は もうすぐ死ぬ事を嬉しく思っている。自分達の国が 崩壊するのを見なくて済むから。

さて、ここで皆さん、

クライストチャーチの大量虐殺について、お話ししたいと思います。

皆さん、これは 最も悲惨な事です。恐ろしい事です。

罪のない人達の 公開処刑が カメラの前で ライブ配信で 行われました。

私は これを非難します。これは 悪魔的な事だと思います。

しかし メディアは皆さんに 話の全てを伝えていないと 確信しています。

私は この犯人が 実際に書き、インターネットで公開された 声明の手紙 全文の写しを入手しました。

彼は なぜそれを行い、その目的は 何なのか。それを知って 私は 衝撃を受けました。

メディアは 全てが イスラム恐怖症 であるかのように描いていますが、

彼は イスラムについて ただの一度も言及していません。

皆さん、彼が 敵視していたのは …

ところで 彼は 病んだ人間でした。

彼は 病んだ目的の為に、病んだ理由で、病んだ事を行った、病んだ人間でした。

ただ 私は それを読みましたが、彼の理由は ムスリムとは一切関係がありませんでした。

問題は 移民 に対してで、彼は 新しい社会 を目指して それを行いました。

「我々は 次のことに向けて 前進する。反帝国主義、環境保護主義、責任ある市場、中毒のないコミュニティ、法律、秩序、伝統と文化を保護する 民族自治体、労働者の権利。これは 新しい社会だ。」

そして彼は 書いています。ところで 彼は 全てのことを書いていますが、私は これは ムスリムを敵視する クリスチャン なのかどうかを調べてみて 衝撃を受けました。この男は 全く キリストを知らず キリスト教について 一切 何も知りません。しかし、彼が 実際に言ったのは

「重要なのは、出生率だ。」

出生率 です。

そして彼は 基本的に こう言っています。

「人口を維持する為には、死亡率に置き換わるだけの 出生率に達しなければならない。」

西社会では、女性一人につき およそ2.06人 である。」

基本的に 彼は ずっと続けていますが、ムスリムについては 言及していません。

ところで、彼は質問を投げかけて、このように言っています。

「おそらく、あなた方は 私に問うだろう。 私は ムスリムを憎んでいるか？ 私は ムスリムを憎んでいない。しかし私は、彼らが 移民として 私の国と 白人である 私の人種を 占拠する事は望まない。」

彼は 差別主義者であり、彼は 白人至上主義者。彼は 病んだ男で、彼は 極右翼です。

しかし これは クリスマンが ムスリムに敵対して実行した事ではありません。全く違い、これは ヨーロッパを暴走する 移民が ニュージーランドとオーストラリアに 飛び火する事を心配した人間です。そして 基本的に 彼は 白人の人種が根絶され、絶滅する危険に 晒されている事を 憂いているのです。

これが、彼が書いていた事です。イスラムについては 一言もありません。

ただ 今は、これがまるで イスラムが攻撃にさらされ、イスラムが標的にされていて、まるで イスラムを憎む人間の犯行 であるかのように 捻じ曲げられています。しかし 興味深く感じたのは、私は 全部読みましたが その中には どこで銃撃を行うのか、その理由まで 書かれていました。そして 私が見て驚いたのは、彼が それらの場所を選んだのは そこで人々が アッラーや マホメッドを 拝んでいるからではありません。全くそれとは関係なく、理由は それらのモスクの一つが 元々は教会であったという事実でした。彼はそれが冒涇だと感じたのです。

「文化が、文化に置き換えられている」 彼は そう言ったのです。事実 彼は自問しながら書いています。

「あなた方は、次の事を知りたいだろう。」 そう言って 彼は答えています。

基本的に 彼が言っているのは、

「唯一 私が憎むムスリムは、自分の伝統、自分の文化を手放して改宗し、別の者になった白人達だ。」
彼が憎むのは こういう人々 です。

ですから 私は とても驚いたのです。私は 考えていたのですが、いつでも ムスリムに対して 非ムスリムが 何かを行うと、それが西洋社会で起こると 全世界の注目を集めて 皆が立ち尽くし、皆が非難し、皆が悼みます。ところで 皆 そうするべきですよ？

しかし、今 こうして 話している間にも ナイジェリア で、

何千人もの クリスマン達が ムスリム達によって 虐殺されている事を ご存知ですか？

彼らが 移民だから ではありません。両方とも ナイジェリア人です。実際には 彼らが クリスマンだからです。ムスリム達が クリスマン達を 殺しているのです。

彼らが クリスマンだから という理由で。これは 明確に伝えられるべきです。

アフリカでの大量虐殺は良くて、白人が圧倒的な 西欧社会で 大量虐殺が起これば メディアの全注目を浴びるなど あってはなりません。私には 理解できません。

世界中で 残虐行為が 行われている事を 明確にするべきです。

クリスマン達が、クリスマン である事を理由に 殺されているのです。

しかし この件は ムスリム達が、ムスリムである事を理由に 殺されたものではありません。

彼は 移民を 狙ったのです。それが 彼の狙いです。彼は 移民を 殺す事を願い、彼は 一人でも多くの 移民を殺そうとしました。死んだ人の全員が 移民でした。その中に白人のニュージーランド人、キウィは 一人もいませんでした。これが その全てです。

さて 何であれ、私が大目に見るとか そんな事は 絶対に考えないでください。私は、彼は病んだ人間であり、これは非難されるべきで、攻撃されるべき事だと思います。私達は 何よりも 厳しい言葉を 使って 対処するべきです。この男は おそらく その事で 処刑すら されるべきでしょう。私にとっては それは 問題ではありません。

しかし 皆さんにお伝えしたいのは メディアは 今 この件に便乗しています。そして現在は 今回起こった事の結果、西側社会では イスラムが好かれているのを 目にするでしょう。私達は この事に 気をつけて おかなければ ならないと思います。

ところで 彼が書いた内容の 一つで、私が とても 気になった事を、これから お話しします。この男は 一体 何を目的としているのか、彼は 自問自答しています。

「なぜ 私は これを行うのか？」

「なぜ 私が これを行うか。もし あなたが 知りたいなら …」

彼は その理由を 全てリストに挙げています。

そして 彼が言っている事の一つで、

「実は 私は 問題を 生み出したいのだ。」

彼は、自分は 問題を 生み出したい、と言いました。

「私は 西東間に 問題を 生み出したいのだ。私は 西側は西、東側は東に 居る事を望んでいる。」

それから 彼が言っている事をみてください。彼は NATO について 次のように言及しています。

これは 敵の殺害プロファイル …、国家主義について …、

それから、彼は言っています。

「多様性は弱く…、ヨーロッパでは 女性のレイプが横行し…、本当に責められるべきは 誰なのか？」

彼は、あらゆることを書いています。

それから彼は クリスチャン について語っていて、実際には ローマ法王 ウルバヌス 2 世 の言葉を引用しています。ローマ法王 ウルバヌス 2 世を ご存知ですか？

聖地に向けて 十字軍を 始めた人物です。そして その道中に ムスリムとユダヤ人を殺しました。

ですから この男は キリスト教について すっかり捻じ曲げて 理解していて、

むしろ 当時の 十字軍が 行なっていた事に 興味を持っています。NATO に関する事を もう一つ お読みします。彼は 自身の言葉で、基本的には 次のように語っています。

「他の全てと戦う、ヨーロッパ軍を設立したい。」

そこで 私は考えていたのですが、何年も前に 私は「イルミナティと世界統一政府」について メッセージしています。そのメッセージの終わりで、私は基本的に、イルミナティが行いたい事は はっきり打ち立てています。彼らは常に 何らかの 危機・分裂を生み出し、そして 両方を煽動します。彼らは 両方を煽動するのです。そうして、さらに戦わせ、さらに混乱を生み出します。もっと言いますと、彼らは 地球の人口を たった 5 億人 に制限したいのです。彼らの観点では、ごく少数だけが 光 を見ており、

だから彼らだけが世界を導くことが出来るのだと考えています。

私は、この男は この手の集団から 洗脳されていると思います。

戦争を始めたい人間、民族戦争、人種戦争、宗教戦争を起こして 混乱を継続させたい人間です。

そして 私が人生の中で見た 最も平和な場所の一つで このような事を 引き起こします。私は去年ニュージーランドに行きましたが、検査もせずに 飛行機に乗れるのを見て 衝撃を受けました。あちらでは、皆が とても 安全を感じていたのです。

実は 今年も またニュージーランドに行って、オークランドで Barry Stagner (バリー スタグナー牧師) 達とカンファレンスを行う予定で、私は とても楽しみにしていますが、明らかに この動き、私は 統率された動き だと思っていますが、危機を生み出し、分断をもたらし、問題や多くの戦争を生み出し、人々が 救い主を 求めるようになる 動きが あるのが分かります。

これが 現在 起こっている事で、これは 霊的戦い だと私は思っています。

この間まで 私が引率していたツアーで 一緒にいた Steve Berge (スティーブ バージ牧師) と 私と両方が同意したのは、今のこれが 神の御国だ などと、どうして言えるのか？

「キングダム ナウ」は、根拠も全くありません。これは、神の御国ではありません。今のこれは 闇の王国です。今のこれは 神の御国ではありません。私達が 今、目にしているのは 恐ろしいものです。

世界には イエスが必要です。世界には 救い主が必要です。世界は 彼を知らなければなりません。

互いに 非難し合うのではなく、私達は 出て行って御言葉を 宣べ伝えるのです。互いを取り締まるのではなく、私達は 福音を伝えなければなりません。死にかけている 世界 があって、彼らは サタン自身に仕えている 非常に 邪悪な者達によって、ミニオン (アニメ映画のキャラクター) のように扱われているのです。

私は 今「主の日」に関するメッセージを 用意しています。

主の日は、いずれ、皆さんの中にも 知らない人がいると思いますが、

神が裁かれる時・・・裁きの日 は 訪れます。

聖書は 次のように伝えています。 イザヤ書 24 章だったと思います。

「その日、主は天では天の大軍を、地では地上の王たちを罰せられる。彼らは囚人が地下牢に集められるように集められ、牢獄に閉じ込められ、それから何年かたって後、罰せられる。」

(イザヤ書 24:21-22)

皆さん、裁きは起こります。

最終的に 神が、天ではサタンの大軍を、地では地上の王たちを処刑されます。サタンは 地上に投げ落とされる事を 私達は知っています。それから彼は 底なしの穴に投げ落とされ、それから 火の海に投げ落とされる事を、私達は知っています。

しかし 現在 私達には **大きな 霊的戦い** があるのです。

今のこれは 地上の神の御国 では ありません。今のこれは 闇の王国 です。

そして聖書の中の 非常に多くの箇所、聖書は この世の支配者である サタンについて、彼が、彼のやり方で 彼の民を動かしている事について 告げています。私達が それを理解しておくことは重要です。文字どおり、人々は これらのことを 知りませんから。

さて、アメリカ国内のユダヤ人について お話ししました。それから 国際裁判所について、ナイジェリアについて お話ししました。クライストチャーチで 起こった事について、ヒズボラについて、それから ガザの暴動 について、

ウェブサイトが上がったばかりの、私の新しい DVD について、カナダのカンファレンスについてもお話ししました。それから、来週 ポルトガル語の ユーチューブチャンネルが始まります。さらに フランス語や ルーマニア語、その他の言語も準備中です。

私達は メッセージを配信して、人々が救われ、人々に 主を知って欲しいのです。

皆に人生を 主に捧げて欲しいのです。ここは死につつある世界です。人が人を殺し、人が人を大虐殺し、人が人を混乱させ、人が他人に 人を殺させていて、人々は ただ 闇の中にいます。私達は この世に光が必要です。

世の光とは 誰ですか？ イエスです。

では、彼が「あなた方は世の光です」と言ったのは、誰のことですか？

私達です。

私達は、彼の光を輝かせ、私達は、彼を代表しなければなりません。私達は、地上で キリストの使節にならなければなりません。そして、彼を通して神と和解するように、人々に嘆願しなければなりません。ですから、皆さん全員を励ましたいのです。私達が、まだここに居るのは、理由があるのです。第二ペテロ 3章は告げています。

「主は… 遅らせておられるのではありません。…すべての人が悔い改めに進むことを 望んでおられるのです。」 (第二ペテロ 3:9)

神は カルヴァン派ではありません。神は 誰の事も 初日から地獄に定めておられません。

神は 実にそのひとり子をお与えになったほどに 世を愛しておられるのです。 (ヨハネ 3:16)

神は 皆に 悔い改めて イエスに立ち返って欲しいのです。

ただ 彼らがそれをするか？ しませんよ。

もちろん 彼ら全員が立ち返るわけではありません。しかし私達が伝えなければ、世界にこの良い知らせを伝えるのです。ですから 皆さん全員を励まします。皆さん 今こそ この闇の世でさえ、これまでになかったほどに 福音を伝えなければなりません。

そして、神の御言葉を学んでください。なぜなら、聖書はヨハネ 17章 17節で告げていますから。

「真理によって彼らを聖め別ってください。 あなたのみにことばは真理です。」

(ヨハネ 17:17)

私達が 聖め別たれる 唯一の道は、真理の御言葉によってのみです。そして、私達が 欺かれる 唯一の道は、私達が 神の御言葉を知らない事です。ですから、今夜 皆さん全員が励まされるよう 祈ります。現在 起こっている悪い事、恐ろしい話を 耳にしましたが、最後は ポジティブな 口調で 終わりたいと思います。
世界には イエスが必要です。
そして、私達にはこれに関して役目があります。

お父様。あなたの御言葉に感謝します。あなたのメッセージに感謝します。このアップデートを通して、人々が もっと励ましを受けますように。そして 外に出て行って、あなたの御言葉を伝えますように。イエスの御名によって。

ヴェイシエメレハー	アドナーイ	イエヴァーレフハー
וְיִשְׁמְרֶךָ	יְהוָה	יְבָרְכֶךָ
..(主が)あなたを守られますように	主が	あなたを祝福し

ヴィーフネツカー	エーレーハー	パーナーヴ	アドナーイ	ヤーエール
וְיַחֲנֶךָ	אֵלֶיךָ	פָּנָיו	יְהוָה	יָאֵר
..(主が)あなたを恵まれますように	あなたに(向けて)	御顔を	主が	照らし

シャーローム	レハー	ヴェヤーセーム	エーレーハー	パーナーヴ	アドナーイ	イッサー
שְׁלוֹם	לְךָ	וְיִשֶׁם	אֵלֶיךָ	פָּנָיו	יְהוָה	יִשָּׂא
平安を	あなたに	(主が)賜るように	あなたに(向けて)	御顔を	主が	上げて

(引用：牧師の書齋 <http://meigata-bokushin.secret.jp/>)

※ 連続して発音する場合は以下

イエヴァーレフハー アドナーイ ヴェイシエメレハー
 ヤーエール アドナーイ パーナーヴ エーレーハー ヴィーフネツカー
 イッサー アドナーイ パーナーヴ エーレーハー ヴェヤーセーム レハー シャーローム

- 24 主があなたを祝福し、あなたを守られますように。
- 25 主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
- 26 主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。

(民数記 6:24~26)

あらゆる理解を超える平安、唯一、平和の君が与えることの出来る平安、

どうか、平和の主ご自身が、どんな場合にも、いつも、あなたがたに平和を与えてくださいますように。どうか、主があなたがたすべてと、ともにおられますように。

(第二テサロニケ 3:16)

彼の御名はイエス。彼の御名によって祈ります。

アーメン。

ありがとうございます。 God bless you !

エイラートの町、紅海沿岸より シャローム。

I love you! God bless you!

メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>